



NEWS RELEASE

2023 年 1 月 31 日
アイダエンジニアリング株式会社
代表取締役会長兼社長
会田 仁一

日本鍛圧機械工業会主催

「MF 技術大賞 2022-2023」受賞のお知らせ

アイダエンジニアリング株式会社は、一般社団法人 日本鍛圧機械工業会が主催する、「MF 技術大賞」において、当社の UL プレスを使った下記の成形事例が大賞を受賞いたしましたのでお知らせします。

受賞製品概要（日鍛工ニュースリリースより抜粋）

受賞製品： **UL プレスでプレス加工限界の 16 分の 1 を実現（自動車用厚板フランジ部品）**

受賞会社： アイダエンジニアリング（株）、光工業（株）（栃木県日光市） 殿

使用機械： 精密成形機「UL シリーズ」



（精密成形機 UL シリーズ）



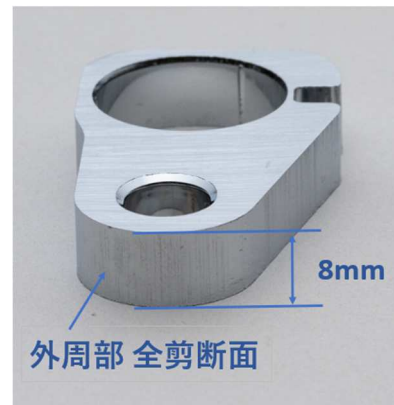
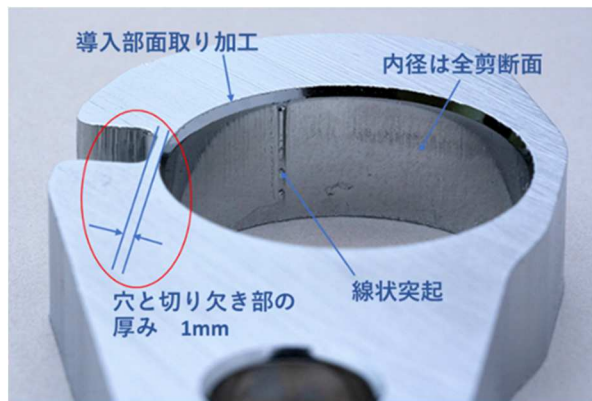
（自動車用厚板フランジ部品）

【受賞理由】

プレス抜き加工において穴と外周部分の肉厚は板厚の 2 倍を確保することが望ましいとされますが、本製品では穴外周部の切り欠き部の肉厚は 1mm という寸法が要求されました。これは通常であれば、機械加工を施す必要がありますが、生産能力に難があるためプレス加工に挑戦し、高剛性で下死点精度の高い加工機械の特性と金型の工夫により量産化を実現した点が評価されました。

【具体的な成果】

機械加工なしでプレス加工とロータリー研磨のみで完成品とする事が可能となり、大幅な生産能力や歩留まりの向上、省エネ・省資源性の向上が実現し、従来工法比 35%のコスト削減に成功しました。



※一般的なプレス抜き加工の場合、本製品のように板厚が 8mm であれば穴外周部の切り欠き部の肉厚は 16mm の厚みが必要ですが、僅か 1mm(16 分の 1)での加工を実現させました。

※MF技術大賞とは（日鍛工ニュースリリースより抜粋）

MF技術大賞は、鍛圧機械を使った鍛圧塑性加工技術の実力を高め、MF（Metal Forming）に不可欠な鍛圧機械、製品加工、金型、システム、素材、組立、研究の7要素を組み合わせた「ものづくり総合力」を顕彰し、トータルでエコな製品製作の成果を発信し、川上から川下までの鍛圧塑性加工技術の発展に寄与することを目指しています。鍛圧機械の良さを最終製品の良さで証明するため、

鍛圧機械メーカーと加工メーカーなどの連合体を表彰いたします。鍛圧機械（レーザ加工機、プラズマ加工機含む）を使用した鍛圧塑性加工技術の集大成として、MF技術大賞は鍛圧機械の世界最高級の大賞と考えております。

<この件に関するお問い合わせ先>

アイダエンジニアリング株式会社 営業本部 販促管理部

（担当：榎田）TEL042-772-5271 / E-mail ae-sales@aida.co.jp

※受賞内容詳細はこちら 日鍛工ホームページ

<https://j-fma.or.jp/activities/mf-technology-award/award-winning-products-introduction>

以上